



## 平成29年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年2月8日

上場会社名 株式会社サニーサイドアップ 上場取引所 東  
 コード番号 2180 URL http://www.ssu.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 次原 悦子  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 グループ管理本部 (氏名) 相田 俊充 TEL 03-6894-3233  
 本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関・個人投資家向け)

百万円未満切捨て

### 1. 平成29年6月期第2四半期の連結業績（平成28年7月1日～平成28年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第2四半期	6,916	3.4	285	△24.5	426	13.3	245	△5.9
28年6月期第2四半期	6,690	△0.2	378	—	376	897.2	261	—

(注) 包括利益 29年6月期第2四半期 108百万円 (△59.5%) 28年6月期第2四半期 266百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第2四半期	67.03	—
28年6月期第2四半期	72.96	71.75

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年6月期第2四半期	5,540	1,492	24.2
28年6月期	5,773	1,402	21.8

(参考) 自己資本 29年6月期第2四半期 1,340百万円 28年6月期 1,259百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年6月期	—	5.00	—	25.00	30.00
29年6月期	—	0.00	—	—	—
29年6月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成29年6月期の連結業績予想（平成28年7月1日～平成29年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,151	△1.8	323	△27.8	461	95.4	378	—	103.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年6月期2Q	3,697,600株	28年6月期	3,697,600株
② 期末自己株式数	29年6月期2Q	32,124株	28年6月期	32,124株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年6月期2Q	3,665,476株	28年6月期2Q	3,579,117株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算説明会及び四半期決算補足説明資料の入手方法について）

当社は、平成29年2月10日（金）に機関投資家・一般投資家向けの説明会を開催する予定です。当説明会で使用する四半期決算補足説明資料は当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの営業活動は順調に進捗し、好調な業績を達成するに至っております。その主な要因としては以下の四つが挙げられます。

1. 基幹事業であるマーケティング・コミュニケーション事業の安定継続的な収益の獲得
2. bills国内店舗の堅調な成長と海外店舗（ハワイ店、韓国一号店・二号店）の経営軌道化
3. スポーツ事業におけるソリューションの拡充と新たな顧客開発の奏功
4. S P・MD事業におけるリソースの選択と集中による業績の安定化

以上の要因により当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高6,916百万円（前年同期比3.4%増）、営業利益285百万円（前年同期比24.5%減）、経常利益426百万円（前年同期比13.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益245百万円（前年同期比5.9%減）となりました。営業利益が前年同期比減となったのは、継続的に受注している一部案件の実施時期の変動等によるものです。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①マーケティング・コミュニケーション事業

話題性を創出する企画力と他の追随を許さないメディアネットワーク力を武器に数多くの成功事例をつくり続けているPR事業は、食品・飲料やヘルスケアといった従来の得意分野から飲食や大型商業施設等、近年において目覚ましい成果をあげている新たな分野まで幅広い領域に渡る案件を当第2四半期連結累計期間も多数手掛けております。PR発想と連動した新しい販売促進ソリューションを提供するプロモーション事業では、大手CVSチェーンや飲料メーカーが展開するキャンペーンをはじめ、話題性あふれる企業や自治体のイベント、最新のデジタル・プロモーション等の継続的受注に成功しており、企業ブランディングのトータルプロデュースを手掛けるコンテンツ&キャスティング事業等も順調に進捗した結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,028百万円（前年同期比2.1%増）となりました。

#### ②S P・MD事業

前期、リソースの選択と集中による収益体質改善のスタートに奏功したS P・MD事業は、当第2四半期連結累計期間においても順調に進捗しております。特に当第2四半期連結累計期間においては、グローバル展開する世界有数の外食チェーンの国内店舗向けの店頭キャンペーン施策が世界各国で二次利用され、企画開発に必要な予算を必要以上にかけることなく効率的に収益をあげることができました。このような成功事例は既に全国各地で展開中の社会貢献活動支援サービスやIoTを活用した教育アプリ開発等と共に、当事業の収益体質化に向けた新たな推進力になるものと確信しております。こうした中、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,235百万円（前年同期比26.0%減）となりました。

#### ③スポーツ事業

日本のスポーツマネジメントビジネスを牽引し続けてきた当社のスポーツ事業は、スポーツが持つ潜在的な可能性に着眼し、スポーツマーケティングというより広範囲なビジネス領域での成功を目指してまいりました。こうした目論見は東京オリンピック・パラリンピック開催決定によって、スポーツがこれまで以上に暮らしと身近な関係になってきたという追い風にも乗り、大きな発展を遂げようとしています。当第2四半期連結累計期間においてはPRやイベント、グッズプロデュース、キャスティング等、スポーツにまつわるソリューションを拡充し、新たな顧客層の開拓において目覚ましい成果をあげるに至っております。このような順調な状況のもと、当第2四半期連結累計期間の売上高は519百万円（前年同期比22.7%増）となりました。

#### ④bills事業

オールデイダイニングレストラン「bills」の国内店舗は、当第2四半期においてアジアの玄関口である福岡、日本最大のインパウンドエリアである銀座と立て続けに新たな店舗を出店し、堅調に推移する他店舗も含めて、増加する外国人旅行者の利用に備えた受け入れ態勢を着々と整えつつあります。韓国における「bills」は政治的混乱が発生したにもかかわらず、その人気は不動と言え、客単価や客席稼働率等の改善を進めて収益性が格段に向上したハワイ店舗も含めた海外店舗の経営はすでに軌道化したと考えております。このように国内店舗、海外店舗ともに着実な成長と進化を遂げた結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,030百万円（前年同期比30.8%増）となりました。

⑤開発事業

当社ならではのPR発想に基づく新たなビジネスを次々に輩出している開発事業では、ジャパンプランドの世界発信をテーマにインターネットやビデオ・オン・デマンドを活用した独自の商流を構築して、越境ECを中心としたグローバル・ビジネスを展開するENGAWA㈱、時代のニーズに呼応した厳選された人財の紹介派遣を行う㈱サニーサイドアップキャリア、独自のノウハウを発揮するPRブティック、㈱エアサイドの三社が稼働しており、当社グループの中長期的な発展の原動力となるべく収益化に向けた計画の実践に積極的に取り組んだ結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は103百万円（前年同期比32.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、5,540百万円（前連結会計年度末より233百万円減）となり、資産の内訳につきましては、流動資産が3,808百万円（同492百万円減）、固定資産が1,731百万円（同258百万円増）であります。また、負債合計は、4,047百万円（同323百万円減）となり、負債の内訳につきましては、流動負債が2,842百万円（同362百万円減）、固定負債が1,205百万円（同39百万円増）であります。純資産合計は、1,492百万円（同90百万円増）となりました。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は、1,252百万円（前連結会計年度末より207百万円増）となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動により獲得した資金は467百万円（前年同期は498百万円の獲得）となりました。主な要因としましては、売上債権の減少額844百万円、仕入債務の減少額138百万円、前受金の減少額147百万円、法人税等の支払額86百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、投資活動により支出した資金は256百万円（前年同期は18百万円の支出）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出174百万円、投資有価証券の取得による支出44百万円、敷金及び保証金の差入による支出45百万円が主な要因であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、財務活動により支出した資金は39百万円（前年同期は320百万円の獲得）となりました。これは、配当金の支払額91百万円、非支配株主からの払込みによる収入70百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては現時点において、平成28年8月17日に発表しました平成28年6月期決算短信に記載しております平成29年6月期の連結業績予想（平成28年7月1日～平成29年6月30日）を平成29年2月8日に変更しております。

なお、業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。今後、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,052,945	1,260,826
受取手形及び売掛金	2,539,988	1,698,301
商品及び製品	7,866	18,881
未成業務支出金	311,213	533,615
原材料及び貯蔵品	26,393	41,416
その他	366,786	262,887
貸倒引当金	△4,551	△7,294
流動資産合計	4,300,642	3,808,634
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	472,311	627,160
土地	508,701	508,701
その他(純額)	99,413	112,764
有形固定資産合計	1,080,426	1,248,627
無形固定資産		
のれん	11,326	10,044
その他	1,152	1,009
無形固定資産合計	12,479	11,053
投資その他の資産		
その他	443,349	533,887
貸倒引当金	△63,429	△62,082
投資その他の資産合計	379,919	471,805
固定資産合計	1,472,825	1,731,486
資産合計	5,773,467	5,540,120
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,212,467	1,070,484
短期借入金	839,907	850,000
1年内返済予定の長期借入金	247,626	239,342
未払法人税等	91,405	218,853
賞与引当金	-	100,000
その他	813,413	363,440
流動負債合計	3,204,821	2,842,120
固定負債		
長期借入金	732,396	720,185
資産除去債務	53,484	72,047
その他	380,630	413,570
固定負債合計	1,166,510	1,205,803
負債合計	4,371,331	4,047,924

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	475,518	475,518
資本剰余金	570,597	600,583
利益剰余金	129,594	283,678
自己株式	△30,281	△30,281
株主資本合計	1,145,428	1,329,499
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,677	2,496
為替換算調整勘定	111,193	8,506
その他の包括利益累計額合計	113,870	11,002
新株予約権	40,378	43,869
非支配株主持分	102,457	107,824
純資産合計	1,402,135	1,492,195
負債純資産合計	5,773,467	5,540,120

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)
売上高	6,690,979	6,916,779
売上原価	5,588,628	5,773,308
売上総利益	1,102,350	1,143,471
販売費及び一般管理費	724,128	858,098
営業利益	378,221	285,373
営業外収益		
受取利息	3,796	422
受取配当金	354	365
為替差益	-	130,618
その他	31,106	23,360
営業外収益合計	35,257	154,767
営業外費用		
支払利息	9,127	5,063
為替差損	8,669	-
デリバティブ評価損	2,191	-
持分法による投資損失	1,196	124
賃貸費用	8,279	7,342
その他	7,735	1,291
営業外費用合計	37,199	13,821
経常利益	376,279	426,319
特別利益		
固定資産売却益	4,914	1,540
特別利益合計	4,914	1,540
税金等調整前四半期純利益	381,193	427,859
法人税等	123,483	216,865
四半期純利益	257,710	210,994
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,430	△34,726
親会社株主に帰属する四半期純利益	261,140	245,720



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成27年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	257,710	210,994
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△758	△180
為替換算調整勘定	9,774	△102,687
その他の包括利益合計	9,016	△102,867
四半期包括利益	266,726	108,126
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	270,156	142,853
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,430	△34,726

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成27年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成28年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	381,193	427,859
減価償却費	70,365	59,167
のれん償却額	213	1,282
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5,966	1,395
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	-	△66,632
賞与引当金の増減額 (△は減少)	80,000	100,000
受取利息及び受取配当金	△4,150	△788
支払利息	9,127	5,063
為替差損益 (△は益)	6,493	△124,447
持分法による投資損益 (△は益)	1,196	124
株式報酬費用	10,861	3,490
有形固定資産売却損益 (△は益)	△4,914	△1,540
匿名組合損益分配額	△2,239	△897
デリバティブ評価損益 (△は益)	2,191	-
売上債権の増減額 (△は増加)	166,946	844,744
たな卸資産の増減額 (△は増加)	60,364	△247,010
前渡金の増減額 (△は増加)	168,557	35,265
その他の資産の増減額 (△は増加)	44,467	43,174
仕入債務の増減額 (△は減少)	△314,222	△138,939
未払金の増減額 (△は減少)	△8,281	△3,437
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△4,053	△35,837
前受金の増減額 (△は減少)	△85,668	△147,162
その他の負債の増減額 (△は減少)	△10,047	△220,834
小計	574,367	534,040
利息及び配当金の受取額	3,843	755
利息の支払額	△9,123	△4,810
法人税等の支払額	△71,129	△86,029
法人税等の還付額	47	23,734
営業活動によるキャッシュ・フロー	498,006	467,690
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△33,762	△174,213
有形固定資産の売却による収入	9,603	6,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による 支出	△18,674	-
投資有価証券の取得による支出	-	△44,290
貸付金の回収による収入	30,631	1,110
敷金及び保証金の差入による支出	△6,720	△45,097
その他	599	49
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,321	△256,441

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成27年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成28年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	145,679	10,092
長期借入れによる収入	330,000	105,000
長期借入金の返済による支出	△165,251	△128,210
自己株式の取得による支出	△62	-
非支配株主からの払込みによる収入	52,000	70,080
配当金の支払額	△35,850	△91,590
リース債務の返済による支出	△5,785	△5,007
財務活動によるキャッシュ・フロー	320,729	△39,635
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,142	36,266
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	799,272	207,880
現金及び現金同等物の期首残高	902,537	1,045,045
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,701,809	1,252,926

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マーケティング・コミュニケーション事業	SP・MD事業	スポーツ事業	bills事業	開発事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	2,967,424	1,669,024	423,376	1,552,869	78,283	6,690,979	-	6,690,979
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,597	205,285	3,945	1,225	16,394	231,448	△231,448	-
計	2,972,022	1,874,310	427,321	1,554,095	94,678	6,922,427	△231,448	6,690,979
セグメント利益又は損失(△)	406,270	202,412	40,095	15,384	△3,311	660,852	△282,630	378,221

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	19,031
全社費用(注)	△301,661
合計	△282,630

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マーケティング・コミュニケーション事業	SP・MD 事業	スポーツ 事業	bills 事業	開発 事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	3,028,309	1,235,162	519,514	2,030,425	103,368	6,916,779	-	6,916,779
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	3,257	77,609	4,892	2,801	30,399	118,959	△118,959	-
計	3,031,566	1,312,771	524,406	2,033,227	133,767	7,035,739	△118,959	6,916,779
セグメント利益 又は損失(△)	366,412	104,595	87,716	37,551	△59,578	536,697	△251,323	285,373

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	31,996
全社費用(注)	△283,319
合計	△251,323

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。